

にほんの里・加計呂麻留学

瀬戸内町教育委員会



▼ 特徴・PRポイント(瀬戸内町ってこんなところ)

瀬戸内町は、鹿児島市の南方450km、奄美大島の南西端部と加計呂麻島・請島・与路島からなっています。東に太平洋、西に東シナ海を望み、町域は東西28.8km、南北27.8kmにわたり、総面積239.6km²の広範な区域となっています。

平成21年には加計呂麻島が『にほんの里100選』に、また、次世代に引き継ぎたい島の景観として、「与路島のサンゴの石垣」や「諸鈍シバヤ」が『島の宝100景』に選定されるなど、自然豊かな島として知られています。また、令和3年には、世界自然遺産に登録されるなど、貴重な動植物の生息する島でもあります。

エメラルドグリーンの海と澄み渡った空、そして緑深い山々が連なる自然豊かな南国の島で、地域の人々と一体となった様々な体験をすることにより、自然の恵みに感謝し、「豊かな心」と「生きる力」を身に付け、子ども同士や家族同士の触れ合い、その他様々な交流や体験、学びをすることができます。

▼ 留学生の声

・喘息発作を繰り返していましたが、瀬戸内町に来て改善しました。また、以前の学校では、「学校に行きたくない」と思っていたのですが、今は、そのようなこともなくなり、学校でも自分の意見を言うことができるようになりました。

・豊かな自然の中で、のびのびと過ごしています。学校行事や地域の活動など、小規模校ならではの良いところを感じています。

▼ 費用負担・補助等

助成金：児童・生徒1名当たり月額30,000円を中学卒業まで支給
留学時に小・中学校在籍者に限る（未就学児は対象外）
住宅補助として、家賃の半額（上限11,000円）を1年間助成

▼ 条件

- 1 小学1年生から中学3年生までの児童・生徒
- 2 保護者がこの制度の趣旨をよく理解し、学校及び地域の活性化を図るため町内の小中学校校区（古仁屋小学校、古仁屋中学校、阿木名小中学校は除く）に住み、子どもたちの育成のため、学校の教育方針や地域に協力的であること。

▼ 学校規模・学校の主な行事

○ 本島側	： 篠川小中学校	児童数： 7名	生徒数： 3名	計10名
	油井小中学校	児童数： 4名	生徒数： 3名	計 7名
	嘉鉄小学校	児童数： 15名		計15名
○ 加計呂麻島	： 薩川小学校	児童数： 4名		計 4名
	西阿室小学校	児童数： 6名		計 6名
	諸鈍小中学校	児童数： 16名	生徒数： 6名	計22名
	伊子茂小中学校	児童数： 18名	生徒数： 10名	計28名
○ 請島	： 池地小中学校	児童数： 5名	生徒数： 1名	計 6名
○ 与路島	： 与路小中学校	児童数： 4名	生徒数： 2名	計 6名

(R4.11 現在)

行事等

- ・郷土文化活動（八月踊り、島唄、島口、三味線など）
- ・ボランティア活動
- ・ふれあい農園
- ・シーカヤック授業

▼ 問合せ・アクセス

問合せ 瀬戸内町教育委員会総務課
電話：0997-72-0113
E-mail：kyoui@town.setouchi.lg.jp



瀬戸内町HP

アクセス 瀬戸内町ホームページ (<https://www.town.setouchi.lg.jp>) 参照

～与路小・中学校留学里親制度～

「海の子留学」

瀬戸内町教育委員会



▼ 特徴・PRポイント(与路島ってこんなところ)

「島の宝100系」に選定された与路島は、青い海と緑濃い山々が連なる自然豊かな南国の小さな島です。このような環境の中で、地域の人々と一体となった様々な体験をすることにより、「豊かな心」と「生きる力」を身につけることができます。また、授業は少人数で行われるので児童生徒一人ひとりに指導が行き渡り「学ぶ力」も身につきます。

「海の子留学」は、瀬戸内町教育委員会と株式会社ノエビア（神戸市）で運営する「与路小・中学校留学里親制度」を利用した里親方式（ホームステイ）の留学制度です。

親元を離れ、島内「与路グリーンハウス」で里親さんと一緒に生活し、1年間地元の小中学校へ通学します。

▼ 留学生の声

・留学をして、血洗いや洗濯物をたたんだり干したりすることを、自分から進んでやるようになりました。与路島はネット環境が整っていないので困りますが、他の留学生と一緒に遊んだり、勉強をしたりするのがとても楽しいです。散歩中にクワの実を食べたり海で泳いだりしたこともよい思い出になりそうです。

・友達と海で遊んだり秘密基地づくりをしたりと、私の地元では体験できないことがたくさんできました。自分の家では片付けなどをしていなかったのが最初は苦勞しました。家事の大変さが分かり、家族への感謝の気持ちを持てるようになりました。

・親元を離れて、自分のことは自分でできるようになりたいと思って留学を希望しました。しかし、いざ留学してみると苦勞することがたくさんありました。あいさつや返事などが地元や家ではできていなかったのが、なれるまで時間がかかりました。

同じ留学生のともだちと外で遊んだり、海で泳いだりたくさんの楽しい思い出ができました。また、留学を通して自分の意見をしっかりとと言えるようになったことも成長したことのひとつ思えて、うれしいです。

▼ 費用負担・補助等

里親への委託料（居住・食費など）月額7万円のうち、瀬戸内町が5万円負担いたします。
給食費や教材費，学用品費，衣料品費，小遣い等の費用は保護者の負担となります。

▼ 条件

《募集対象》

- ① 町外の小学1年生から中学3年生までの児童生徒
- ② 地域の環境を理解して就学を希望し，且つ保護者の了解を得ている児童生徒
- ③ 心身ともに健康で学校集団生活を営むことができる児童生徒

《募集人員》

若干名

《体験留学》

体験留学では，実際に与路小中学校へ通い（1日），グリーンハウスでの宿泊を体験していただきます。

留学を希望する場合は，必ず保護者とともに体験留学をしていただきます。

▼ 学校規模・学校の主な行事

○与路小中学校 児童数： 4名 生徒数： 2名 計 6名

(R4.11 現在) 留学生含む

行事等

- ・三島（与路島，請島，加計呂麻島）集合学習
- ・ふれあい活動 ・海開き ・運動会，学習発表会 ・島口伝統芸能大会
- ・持久走大会 ・書き初め大会 ・遠足等

▼ 問合せ・アクセス

<問い合わせ先>

〒650-8521 兵庫県神戸市中央区港島中町 6-13-1
株式会社ノエビア グループ管財部
TEL 078-303-5103



海の子留学HP



瀬戸内町HP

海の子留学ホームページ (<https://www.noevir.co.jp/ryugaku/>)

<アクセス> 瀬戸内町ホームページ (<https://www.town.setouchi.lg.jp>) 参照

徳之島町ふるさと留学

徳之島町教育委員会



▼ 特徴・PRポイント(徳之島町ってこんなところ)

徳之島町は、県本土の南端から約400km離れた奄美群島の中央にある離島、徳之島に3つある町の1つです。「世界自然遺産」の自然豊かな環境、世界的にも貴重な固有種や、絶滅の恐れがある動植物の生息地となっており、都会ではすることのできない体験がたくさんできる地域となっています。また、ICTを活用した「最先端の学び」を取り入れ、遠隔授業や学習アプリを活用し、学力の底上げをしています。遠隔授業では町内にある別の学校の児童と学習をし、その教科を専門とする先生から授業を受けることができます。徳之島町の地域住民との触れ合いを通して豊かな人間性を育むとともに、地域の活性化及び教育の振興・充実を図ることを目的として留学生を受け入れています。

▼ 留学生の声

- ・ 実際に島で暮らしてみて、ネットや本などでは分からない島の魅力を知ることができた。
- ・ 留学先の里親さんと触れ合う中で、いろいろなことを教えてもらい、今まで甘えていた自分に気が付くことができた。人間的にも大きく成長できたと思う。少しは成長できた姿を実親に見せることができるのではないかなと思う。
- ・ 様々な検定に挑戦するようになった。
- ・ 部活動に入部し、今まで経験したことのないスポーツ（バドミントン）に出会うことができた。

▼ 費用負担・補助等

- 1 委託料：月額6万5千円
(保護者負担：月額3万円，町補助：月額3万5千円)
- 2 給食費・学校教材費等・医療費・衣料費・学用品費は別途負担が必要

▼ 条件

- 1 小学1年生から中学3年生までの児童・生徒
- 2 豊かな生活体験と温かい人間関係により，第二のふるさとを求める児童・生徒
- 3 島の大自然の中でのびのびと生活し，勉強することを希望する児童・生徒

▼ 学校規模・学校の主な行事

○ 手々小中学校 児童数 4名 生徒数3名 計7名
<http://www5.synapse.ne.jp/tetesyoutyuu/> (手々小・中学校)



手々小中HP

○ 山小学校 児童数7名 計7名
http://www5.synapse.ne.jp/sansho_page/contact.html (山小学校)



山小HP

○ 山中学校 生徒数6名 計6名
<http://www5.synapse.ne.jp/sancyuu/index.html> (山中学校)



山中HP

3校総計19名 (R4.5.12現在)

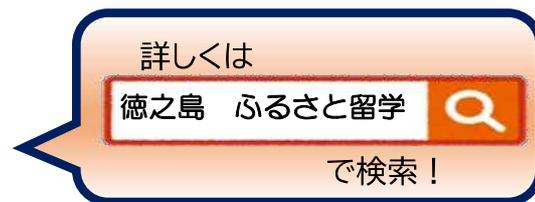
▼ 問合せ・アクセス

徳之島町ふるさと留学制度
お問い合わせ先

徳之島町教育委員会
Tel:0997-82-1308



徳之島町HP





天城町山海留学制度

天城町教育委員会



バレイシヨの収穫



海洋学習



アマミノクロウサギ



☆みんな仲よし☆

▼ 特徴・PRポイント (天城町ってこんなところ)

徳之島の西半分を占める天城町には徳之島の空の玄関口である「徳之島子宝空港」があり、空港からは妊婦が洗い髪をする姿に見立てられた通称「寝姿山」は町のシンボルとして広く町民に愛され、子宝の象徴として大切にされています。天城町には14の集落があり、昔からユイ（助け合い励まし合い）の精神が根底にあり、今も根付いています。地域の人々が一緒になって子育てに関わり、一人一人の子供の成長を共に見守り、共に喜びます。

▼ 留学生等の声

北の寒いところから来た私は、いつも暖かい天城町が大好きです。海が近く泳ぎに行くことも多くなりました。たくさんの自然に囲まれた天城町で思いっきり遊んだり、学んだりしてとっても楽しいです。

天城町に山海留学をした弟をきっかけに私も東京から天城町へ転校しました。最初は友達ができるか不安でした。それは、家族のような仲間たちの中に入れる気がしなかったからです。しかし、あっという間に打ち解けて今では、ずっと一緒にいたい友だちができました。たった一つの選択によって、出会う人、時間の使い方が変わってきます。1年で帰るつもりでした。けれども、今はもう帰りたいと思いません。



結び結び留学

伊仙町教育委員会



▼特徴・PRポイント（伊仙町ってこんなところ！！）

結び結び留学は、今年度より開始した留学制度で、伊仙町の豊かな緑ときれいな海の中で、のびのびと心豊かな学校生活を送ることができます。

「結び」とは、人と人、集落や集落の繋がりを表した言葉で、徳之島は「結いの島」と呼ばれるほど人情に満ちた島です。そんな島で学校生活を送ってみるのはいかがですか？

PRポイント

- ・学校から徒歩圏内に世界遺産の名所が多数！
- ・学校だけでなく町内のイベントが盛りだくさん！（収穫祭、駅伝大会等）
- ・生徒約5人に対して先生が1人で授業を受けられる！

▼留学生の声

順次掲載予定です！皆様のご応募お待ちしております！！

▼費用負担・補助額

【家族型留学の場合】

家賃として、月額30,000円、支援費として、子ども1人当たり30,000円を補助

【孫型留学の場合】

食費として、月額30,000円を補助

【里親型留学の場合】

生活費として、月額40,000万円を補助（実親も30,000円負担）

▼条件

以下をご理解いただき、申込書を提出した者で、教育委員会と実施委員会で承認された者

- ・地域の自然や環境を理解し、転入学を希望する児童生徒
- ・小規模校（少人数学級、複式学級）での学習を希望し、向上心のある児童生徒
- ・小学1年生から中学3年生の児童生徒

▼学校規模、主な学校行事

喜念小学校
・児童数 21名
・教員数 10名

阿権小学校
・児童数 17名
・教員数 8名

鹿浦小学校
・児童数 27名
・教員数 12名

糸木名小学校
・児童数 17名
・教員数 9名

馬根小学校
・児童数 9名
・教員数 10名

伊仙中学校
・生徒数 92名
・教員数 16名

面縄中学校
・生徒数 66名
・教員数 13名

犬田布学校
・児童数 63名
・教員数 14名

主な学校行事

- ・伊仙町内陸上記録会(5、6年生)
- ・島っ子ガイド、ジャガイモ栽培、島唄・島口教室、精糖

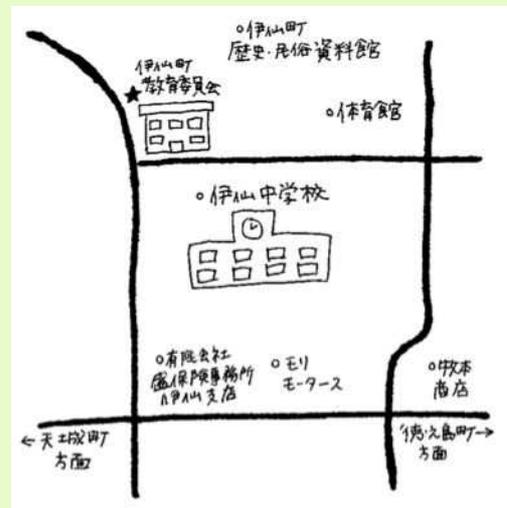
▼問い合わせ・アクセス

- ・問い合わせ先
伊仙町教育委員会総務課
電話番号：0997-86-4651
FAX：0997-86-2373



伊仙町公式HP

- ・伊仙町教育委員会までのアクセス
徳之島空港から車で30分
亀徳港から車で20分



えらぶゆりの島留学

知名町教育委員会



▼ 特徴・PRポイント（知名町ってこんなところ）

「花と鍾乳洞の島」と呼ばれる沖永良部島は、珊瑚礁が隆起してできた珊瑚の島で、地下には洞窟がたくさんあります。春には花が咲き誇り、夏にはウミガメが産卵に、冬にはくじらが子育てをしに訪れる、豊かな自然に恵まれたすてきな島です。

知名町は鹿児島県の奄美群島に属し、鹿児島本土から約550km、沖縄本土から約60kmの位置にある沖永良部島の西側にあります。

町のキャッチコピーである「みんなで創り みんなで育む みんなのまち」が表しているように、この島には、地域ぐるみで地域の子どもの育てていく文化があります。

えらぶゆりの島留学では、島に住む人々との交流を大切にしながら遊ぶように学び、豊かな自然と共に生きることを通して「地球にやさしい暮らし」を日々の生活の中で一緒に探究していける親子を募集しています。

▼ 留学生の声

・上城小学校は人数が少ないけど、みんな優しくてすぐに友だちになれました。選手や代表になる経験もできました。きれいな海で泳いだり、木登りしたり、自然の中で思いきり遊べてとても楽しかったです。

・皆さまに温かく受け入れていただき、ずっとオンライン授業だった娘が元気に学校に行くことができただけでも大感謝です。島に来てまだ1ヶ月半とは思えないほど充実しており、何より一人っ子の娘にとって、いつもお友達と一緒にシェアハウス生活は毎日とても楽しそうで微笑ましいです。これから島留学を通じて地域の皆さまといろいろな活動や体験ができることを楽しみにしています。

▼ 費用負担・補助等

保護者の負担軽減のため、町からの島留学支援助成金として1世帯につき月額3万円を助成します。
*助成期間は、留学期間の1年までとします。

▼ 条件

- 1 地域の自然環境や伝統を理解し、指定校への転学を希望する児童
- 2 豊かな自然の中で創造性を育みながら遊び、学ぶ意欲のある児童
- 3 本島留学制度に共感し、親子(家族)で知名町に居住できる方

▼ 学校規模・学校の主な行事

- 上城小学校
 - ・児童数 18名
 - ・教員数 11名
- 主な行事
 - ・田植え・稲刈り・脱穀、小学校・校区合同運動会
 - ・三線学習、イシシハカマ(地域の踊り)練習
 - ・島唄・島ムニ(方言)大会の練習等



上城小 HP



上城小 blog

▼ 問合せ・アクセス

◎ 島留学制度(手続き、面接等)について
知名町教育委員会学校教育課 担当: 國生、地下
〒891-9295 鹿児島県大島郡知名町知名307
TEL 0997-84-3158
Email: china07@town.china.lg.jp



知名町 HP



ちなボー

◎ 住まい・暮らしについて
一般社団法人えらぶ手帖 担当: かま、地下
〒891-9233 鹿児島県大島郡知名町下城1230
TEL 050-3573-6396
Email: okino.e.lab@gmail.com

与論町ふるさと留学

与論町教育委員会



▼ 特徴・PRポイント(与論町ってこんなところ)

◆鹿児島県の最南端に位置する与論島は一島一町の島で、人口は5,115名、周囲約23km、面積約21km²の小さな島です。

透明度の高い海に囲まれており、干潮時にしか見ることのできない「百合ヶ浜」が観光スポットとして注目されています。ウミガメの上陸頭数も多く、自然豊かな島です。

島内には小学校3校、中学校1校、高等学校1校の学校があり、中学校と高等学校では連携型中高一貫教育を行っています。また、全ての小中学校が教育課程特例校として海洋教育科「ゆんぬ学」に取り組んでおり、与論高校も総合的な探究の時間で県内外をステージとした海洋教育を実施しており、「島だち」後の社会を生きていく力の育成に努めています。

自然豊かな環境の中で、のびのびと生活し、勉学に取り組み、将来の夢を見つけ、大きく羽ばたきましょう。

▼ 留学生の声

・与論島の方々は優しいので、気軽に来てもいいと思います。観光でも、学びが目的でも、与論島はオススメです！！

・与論島はとてもよい所ですよ！！島民の人とてもよい人が多く、面白い人が多いです。与論島にはたくさんの自然があります。そして、星空もとても綺麗です。なので、自然などが好きな人にはとてもオススメです！！

▼ 費用負担・補助等

- ◆生活補助額（月額） 30,000 円
※兄弟等で2名以上の場合（2人目が20,000円，3人目からは10,000円）
- ◆家賃補助 （家賃月額半額補助とし，20,000円を上限）※借家の場合
- ◆帰省補助金額 30,000円（1年間本町に在住した場合）※1回のみ

▼ 条件

- ◆与論町教育委員会の「ふるさと留学制度」より「ふるさと留学募集要項」をご覧ください。



与論高校ふるさと留学募集要項



与論中ふるさと留学募集要項

▼ 学校規模・学校の主な行事

- ◆ 鹿児島県立与論高等学校 学校規模：生徒数110名
（令和4年9月1日現在）

体育大会 文化祭 修学旅行等
海洋教育 総合的な探究の時間「ゆんぬ」



与論高校HP

- ◆ 与論町立与論中学校 学校規模：生徒数169名
（令和4年9月1日現在）

体育大会 文化祭 修学旅行 集団体験学習等
令和4年度教育課程特例校 海洋教育科「ゆんぬ学」



与論中HP

与論町教育委員会

<https://www.yoron.jp/kyouiku/>

〒891-9301

鹿児島県大島郡与論町大字茶花1418番地1 与論町教育委員会事務局

TEL：0997-97-2441 FAX：0997-97-4196

Mail：gakumu@yoron.jp



与論町教委HP